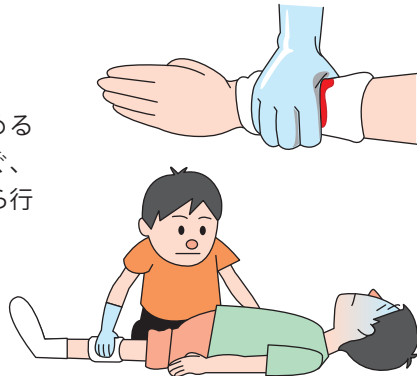


応急手当 [ケガの応急手当]

出血のときの止血

傷の手当ては、**①**出血を止める（止血）、**②**細菌の侵入を防ぐ、という2つのことを意識しながら行う。



応急手当

- ①** 出血しているところを完全におおえる大きさの清潔なガーゼや布でやや強く押さえ、止血する。
- ②** 患部を清潔に保ち、包帯などを巻く。
- ③** じかに血液にふれないように、ビニール・ゴム手袋を利用する（スーパーの袋などでもよい）。

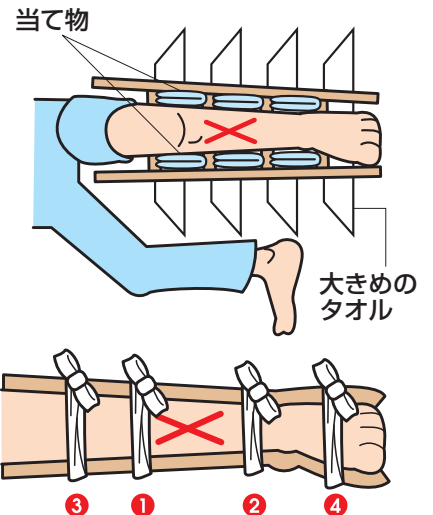
骨折

[骨折の見方]

- はげしい痛み
- はれたり変形している
- 冷や汗がでたり、寒気がする
- 傷口から骨の端がでてくる

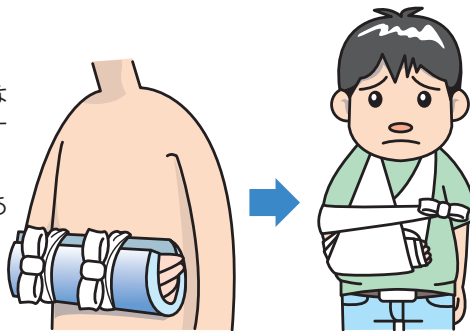
応急手当

- ①** 出血している場合は、その手当をする。
- ②** 雑誌などをあて、痛くない位置で固定する。雑誌などは骨折部分の上下の関節より長くする。
- ③** 骨が突き出ているときは、その上に清潔なガーゼか布をあて、シーツなどでくるむ。



[腕の骨折]

- ①** 骨折しているところに雑誌などをあて、その上下を固定する。
- ②** 大きめのタオルでつつたあと、さらに胸部に固定する。



[足の骨折]

- ①** 骨折しているところの両側から、雑誌などをあてる。
- ②** 関節が動かないよう、**①**～**④**の順番に固定する。

棒や板、かさ、ステッキ、ダンボール、新聞紙（かたく折りまげる）などでも代用することができます。

